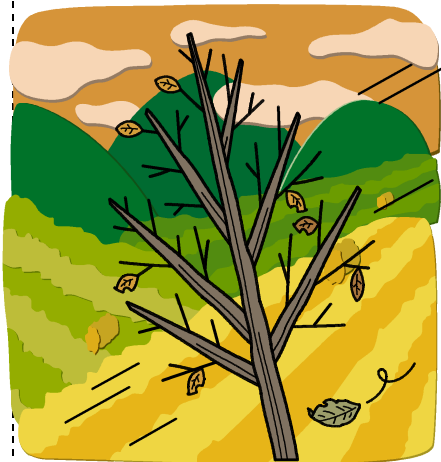


『成長しつづける子どもたち』

校長 木村明彦



学校周辺を見渡すと、落ち葉が、辺り一面に敷き詰められ、朝晩は、ストーブの暖かみが有難い季節となりました。昨年は、異常なまでの雪虫の大群に驚きましたが、今年はまだその姿が見えず、冬本番はもう少し先となるのでしょうか。いずれにしても、雪の多い冬にならないことを願っているところです。学校では、風邪気味の子どもたちが多く、体調が気になる場所ですが、保護者・地域の皆様におかれましては、寒さ対策等、万全にして、健康にお過ごしいただければと思います。

さて、先月の学芸会には、多くの保護者・地域の皆様にご来場頂き、子どもたちに盛大で暖かいご声援を頂きました。本当に、有り難うございました。どの子ども、皆様の声援に応えようと、意欲的に、一生懸命に、学習の成果を力一杯に表現し、とても充実した表情を見せてくれました。練習が始まってから、失敗を繰り返しながらも、日々努力を続ける姿を見てきていましたので、当日の素晴らしい発表には、涙腺があつくなるのを感じたほどです。改めて、子どもたちの大きな可能性を感じ、今後も皆様と連携を図りながら、教職員力を合わせ、子どもたちのよいところを伸ばしていかなければと、思ったところです。

また、学芸会が終わり、2学期末まであと二ヶ月ほどというこの時期は、大きな行事もなく、とかく、目的を見失いがちとなる時期です。本校では、後志管内はもとより、全道的にも、ICTを活用した学習活動が進んでおり、子どもたちの学力も高い水準にあることなどから、外部からも高い評価を頂いています。ですが、子どもたちの心の成長とバランスがとれなくては、高水準の学力は、社会に出たときには何ら意味を持たないことが予想されます。人間性を高め、自らのため、他人のために活用することができて、はじめて、その学力は意味を持ち始めるからです。身につけた資質や能力をどのように生かすのか、大きく人間性に関わってくることは、いうまでもありません。本校では、このことを踏まえ、学習活動中も、時には、個に応じた解決方法を自身で考えたり、ある時は、友だちと協働で解決方法を探ったりと、一人一人を大切にしながら、人との繋がりを意識した学習活動に取り組んでいます。全てが、順風満帆というわけにはいかないまでも、学力と人間性をバランスよく育み、子どもたちの可能性を引き出していきたいと考えています。さらに、これらのことを推し進めていくためには、健康な体を整える、家庭生活が基盤となります。今後とも、家庭・学校が連携を図り、全ての子どもたちの成長を、共に笑顔で見続けたいと願っています。ご理解とご協力をお願い致します。



本年度の重点目標 主体的・対話的に学ぶ力の育成～意欲溢れる優しい子～

大自然に囲まれた学び舎にふさわしい「きもべつの子」を共に育てましょう！

ホーネッツ・レディースの皆さんと

9/30に5・6年生の体育のソフトボール授業で、ホーネッツ・レディースの皆さんを講師に野球教室を行いました。

1学期には、全校児童を対象にボール投げの指導をしていただいたこともあり、子ども達も久々の再会を喜んでいました。ゴロやフライの捕り方、バッティングなど、基礎となる動きを指導していただいた後に、2チームに分かれてゲームを行いました。①野球少年団の人は、いつもの打ち方と逆にすること②アウトを取るためには、ボールを取った人の周りに全員集まること③打った後に、フラーフープの中にバットを置ければ1点など、初心者でも楽しむことができるようルールを工夫してくださいました。経験の有無にかかわらず、楽しく積極的に参加できるようご指導くださったホーネッツ・レディースの皆さんに感謝申し上げます。



学芸会

10/12に開催されました学芸会には、保護者の方々をはじめ、たくさんの地域の方々にも足を運んでいただき、ご観覧いただきました。発表中、クイズに参加して下さったり、温かい拍手や笑い声が起こったりしたことで、自分たちの発表に満足感や達成感を感じる事ができたようです。お忙しい中、ご来校いただきありがとうございます。これからは、学芸会で見せた子ども達の頑張りを学校生活の中にも活かしていくことができるよう、職員全体で指導していきます。



給食の献立は？

6年生が、家庭科で学習したことをもとに、栄養バランスや彩り、旬の食材等も取り入れた献立を考え9月と10月に給食として提供されました。自分たちの考えが採用された日には、どのような反応が来るのかドキドキしていたようです。献立を考えることの難しさと食べる人が喜んでくれることの嬉しさを感じられる体験となりました。



SCの先生と

スクールカウンセラーの北田先生に「自分にも相手にも優しくなれるコミュニケーション」と題し、6年生にお話をさせていただきました。自己主張には3つのパターンがあり、その時の気分によっても表現の仕方が変わること気づかされました。自分の気持ちを正しく伝えることは難しいですが、周りとの関係を良好にできる自己主張をしていくことが大切であると教えていただきました。

読書の秋です

11/6から始まる読書週間に向け、約100冊の新しい本を購入しました。また、今年度は、みずほ教育福祉事業団様から「へき地教育設備助成」として図書購入費をいただき、生活図書委員会の児童が選んだ本が届いております。たくさんの本に触れ合うことができるような機会と学校図書館教育の充実のために活用させていただきます。お待ちしております。

